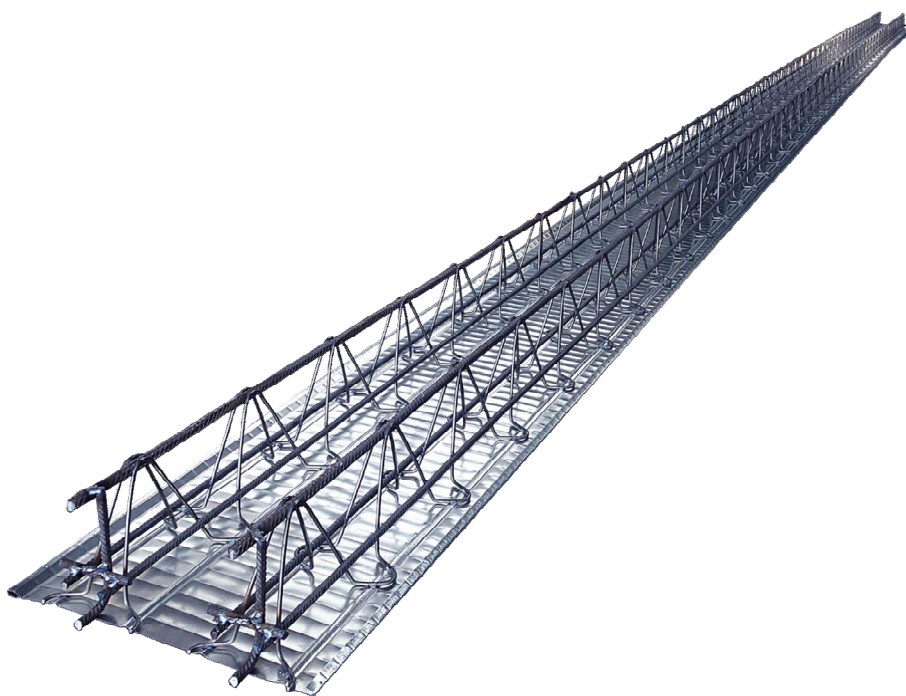


✓ Third party verified
Environmental Product Declaration
Conformance with
ISO14025 | ISO14040 | ISO14044



MEC Industry株式会社
MEC Industry Co.,Ltd.

スーパーグリーンデッキ SUPER Green DECK



登録番号	検証合格日	公開日	検証有効期間	EPDタイプ
SuMPO-EPD-2512-58-1	2025/12/25	2026/1/16	2030/12/24	単一製品EPD
※更新された場合は初版公開日				
追加の準拠規格	EPDは検証期間であっても、更新または公開が中止となることがあります。 EPDの最新版および有効性を確認するには以下を確認してください。 https://ecoleaf-label.jp/epd/search			
ISO21930:2017				

Environmental Product Declaration for **SUPER Green DECK**

●基本情報

> プログラム情報

プログラム名称	SuMPO環境ラベルプログラム
プログラムオペレーター	一般社団法人サステナブル経営推進機構
所在地	東京都千代田区内神田1-14-8 KANDA SQUARE GATE 4F
ウェブサイト	https://ecoleaf-label.jp

> GPI・PCR情報

GPI	SuMPO EPD Japan General Program Instructions v.2.1.1
PCR名称	建材及び建設製品
PCR登録番号	SuMPO-PCR-01000-2-0-1
PCR認定日	2025/3/31
レビューパネル委員長（所属）	伊香賀 俊治（慶應義塾大学 名誉教授、一般財団法人住宅・建築SDGs推進センター 理事長）
PCR有効期限	2030/3/30
PCR発行者	一般社団法人サステナブル経営推進機構

> 検証情報

検証の種類	ISO14025及びISO21930:2017に従った第三者検証		
	☐ 内部	☒ 外部	
検証実施者（所属）	☒ 検証員による 第三者検証	☐ 検証機関による 第三者検証	☐ EPDシステム認証 による第三者検証
	阿藤 崇浩（特定非営利活動法人資源リサイクルシステムセンター）		

> 準拠規格

準拠規格	☒ ISO14040:2006	☒ ISO14044:2006	☒ ISO14067:2018
	☒ ISO14025:2006	☒ ISO21930:2007	☒ ISO21930:2017
	☐ EN15804+A2	☐ EN50693:2019	☐ ISO/IEC63366:2025

EPDに記載の情報及びEPDに記載の情報に関する環境主張についての責任はEPD取得事業者が持ちます。EPDの内容に関するご不明点、確認事項については、EPD取得事業者までお問い合わせください。

EPDの比較は、建設製品の機能を十分に考慮した上で実施されなければならないため、建設製品における建材のライフサイクル全体を考慮し、建設製品において同等の用途を想定したシナリオを適用している必要があります。EPDの比較の際に考慮すべき条件は本宣言が使用するPCRを参照してください。

EPDが宣言単位に基づいている場合、比較は機能単位あたりで行われなければなりません。

環境影響評価結果はあくまで相対的な数値です。数値の大きさにより環境への影響を一概に結論づけられるものではありません。また、算定した数値は環境への具体的な影響の大きさや安全性（閾値を超過しているか等）、リスク評価（環境や人間にどれだけの影響を及ぼすか等）を直接示すものではありません。

加重平均を用いた算定の場合、ライフサイクル影響評価結果及びライフサイクルインベントリ分析関連情報、廃棄物関連情報、出力フローに関する環境情報は、特定の製品についての情報ではありません。

●EPD取得事業者情報

事業者名・部署名	MEC Industry株式会社営業部営業統括課
住所	鹿児島県始良郡湧水町木場3102
問い合わせ先	0995-55-1586
LCA算定実施者（所属）	杉山 柊人（MEC industry 株式会社）
事業者概要	新建材事業：RC造・S造で使われる建材の一部を「木」に置き換えることを可能にする新建材を開発・供給する事業 木プレファブリック事業：工場で作った部材を現場で組み立てる建築工法（プレファブ）による、木を活用した戸建て住宅の供給

●製品情報

製品名称		スーパーグリーンデッキ		
製品の型式		SGD		
製品仕様	製品機能	建築用デッキの提供		
	製品質量	9.27 kg	換算係数	9.27 kg/m ²
	製品の用途	建築用デッキ		
	技術性能	-		
耐用年数	年数	約50年		
	使用条件	鉄骨造・鉄骨鉄筋コンクリート造・鉄筋コンクリート造の建築物用途		
	年数を設定した根拠	法定耐用年数表		
製造サイト（製造拠点）		湧水工場		
製品概要		鉄筋付きデッキプレート（型枠）として鉄筋トラス（鉄筋）が一体となっており、コンクリート打込み時はデッキ型枠として、硬化後は鉄筋トラスがスラブ主筋となり鉄筋コンクリートスラブとして耐力を負担する床構造デッキです。構成材料は全て電炉材。		
製品ウェブサイト		https://www.mec-industry.com/building-material		

●材料及び物質に関する構成要素

製品構成要素	割合 (%)	質量
鉄筋・鉄線	87.3	7.8 k g
メッキ鋼板	12.7	1.1 k g
包装材構成要素	割合 (%)	質量
梱包用木材	100.0	0.4 k g

●生物由来炭素含有量

項目	含有量 (kg-C)	含有量 (kg-CO ₂ eq)
製品あたりの生物由来炭素含有量	-	-
提供元にわたる包装資材の生物由来炭素含有量	0.35	1.27

●LCA 関連情報

> EPDタイプ情報

EPDタイプ	製品タイプ	☒ 単一製品		☐ グループ製品		☐ 業界製品	
	サイトタイプ	☒ 特定サイト			☐ 複数サイト		
	開示方法	☒ 特定値	☐ 加重平均値		☐ 代表値		☐ 上限値
地理的範囲		日本					
複数製品/複数サイトを 含むEPDにおける 代表性の説明		－					
複数製品/複数サイトを 含むEPDにおける、算定結果の 上下幅に関する説明		－					
複数製品EPDの説明		－					

> LCA関連情報

機能単位	1 m ² あたり		
宣言単位当たりの質量 (質量への換算係数)	9.27 kg/m ²		
基準フロー (機能単位を満たすため に必要な製品数)	-		
システム境界	☒ Cradle-to Gate	☐ Cradle-to-Gate with options	☐ Cradle-to-Grave
LCAソフトウェア	クラウド版MiLCA ver.1.2.1.7		
LCIデータベース	AIST-IDEA Ver3.5.1		
特性化モデル	気候変動：IPCC第6次評価報告書(IPCC,2021年)、その他の影響領域：LIME2		
その他のバックグラウンドデータ	-		
二次データ品質	「GPIに規定の二次データ品質を満たしたデータを用いて算定を行った。なお、データ品質評価はISO 14044：2006（環境マネジメント—ライフサイクルアセスメント—要求事項及び指針）の4.2.3.6に従って行った。		
一次データ収集拠点	湧水工場		
一次データ収集期間	2024年4月から2025年9月		
生物由来炭素の取り扱い	☐ 0/0アプローチ		☒ -1/+1アプローチ
電力契約に 関する情報	使用有無	☒ 国や地域の平均的な電力ミックス	
	種類	☐ その他	
	購入日		
	発行元		

> 算定対象段階

資材製造段階			施行段階		使用段階							解体段階				境界外
					資材関連					光熱水関連						
A1	A2	A3	A4	A5	B1	B2	B3	B4	B5	B6	B7	C1	C2	C3	C4	D
原材料の調達	工場への輸送	製造	現場への輸送	施工	使用	維持保全	修繕	更新	改修	エネルギー 消費	水使用	解体・撤去	廃棄物の輸送	中間処理	廃棄物の処理	潜在的な負荷と便益
■	■	■	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－

■：算定対象 -：算定対象外

> アロケーション

アロケーションは重量を基準とする物理的基準である

> カットオフ

P C R に記載された項目以外でカットオフしたプロセスはない

> システム境界

GPIおよびPCRで定められたシステム境界外プロセス以外をシステム境界外としていない
A1～A3の資材製造段階のみを算定対象とした。
使用したPCRでは上記範囲のみが必須算定対象範囲であり、
A4以降は任意算定対象範囲である為。
時間的システム境界は100年である。

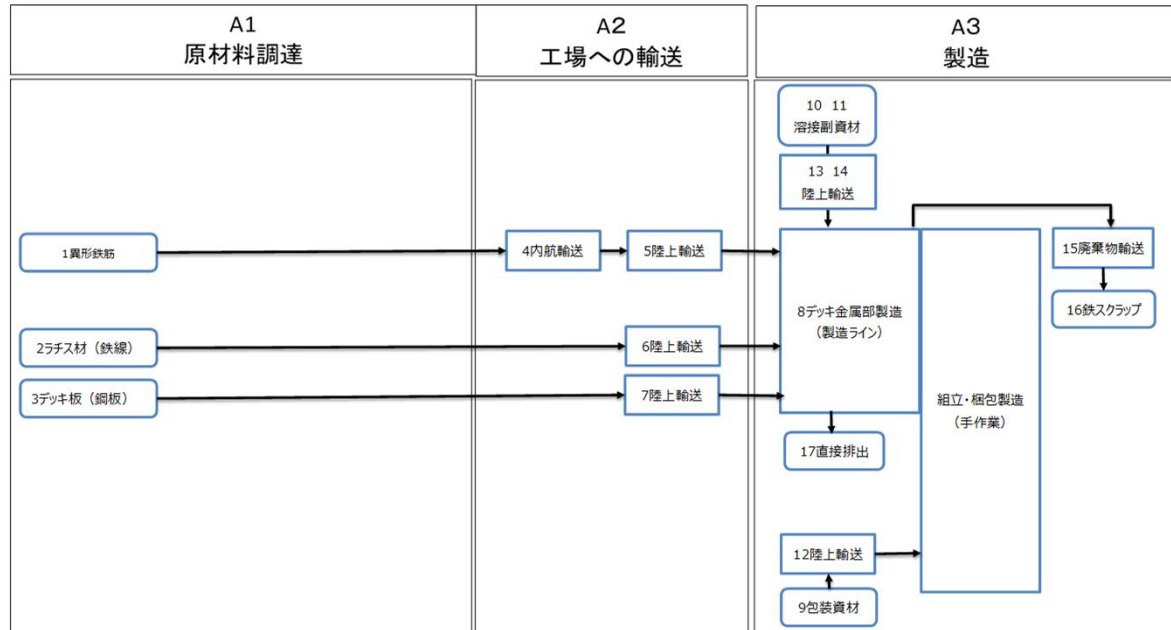
> シナリオ

モジュール	説明
A1	PCRに規定されている輸送シナリオ
A2	PCRに規定されている輸送シナリオ
A3	PCRに規定されている輸送シナリオ

> 電力モデリング

対象とする全てのライフサイクル段階において、2021年における日本平均の系統電力のデータを用いて算定を行った。

> ライフサイクルフロー図



[illegible][illegible][illegible]

＞ライフサイクルインベントリ分析関連情報－非生物資源-化石燃料、淡水の消費量

[illegible]

＞廃棄物関連情報

[illegible]

> 出力フローに関する環境情報

[illegible]

> LCA算定結果に関する説明

・一般的な値（原単位）を利用しているため、当製品固有特有の特徴を反映していない場合があります。そのため、この結果は概算値としてご利用ください。

●追加環境情報

> LCAに関連しない追加環境情報

-

> 有害物質に関する情報

有害物質名	CAS No.	適用される基準または規制の参照
-		
-		
-		
-		
-		

建材および建設製品からの危険物質の放出

-

●用語の定義

-

●参考文献

- ISO14025:2006 Environmental labels and declarations — Type III environmental declarations — Principles and procedures
- ISO14040:2006 Environmental management - Life Cycle Assessment - Principles and framework
- ISO14044:2006 Environmental management - Life Cycle Assessment - Requirements and guidelines
- ISO21930:2017 Sustainability in buildings and civil engineering works — Core rules for environmental product declarations of construction products and services
- ISO14067:2018 Greenhouse gases — Carbon footprint of products — Requirements and guidelines for quantification